

## 平成25～27年の施策展開 3カ年の中期経営計画を策定

当社は平成25～27年の3カ年の中期経営計画を策定しました。

京葉ガスは、当社とグループ会社やビジネスパートナーで構成する連携体制“オール京葉ガス”の総力を結集し、平成22年12月に策定した平成23～25年の中期経営計画の目標達成に向けて取り組んでいますが、今回、新たな3カ年の中期経営計画（平成25～27年）を1年前倒しする形で策定しました。

東日本大震災以降、エネルギーや環境にかかわる政策が見直されるなかで当社は、地震災害対策を一層加速させガスの安定供給をより強化すること、また、経営効率化に取り組み、天然ガスの普及拡大と高度利用により天然ガスシフトを推進することが重要な使命ととらえて、取り巻く環境の変化と経営課題に対しスピード感をもって取り組んでまいります。

### — 中期経営計画（平成25～27年）の概要 —

#### 【事業課題】

1. お客様の安全で快適な生活に貢献  
地震・津波などの災害に対する万全な対策を講じるとともに、お客様の快適な生活に貢献するサービスの提供に取り組みます。
2. 天然ガスシフトの推進と分散型エネルギーシステムの普及促進  
天然ガスの普及拡大と高度利用に加えて、コージェネレーションシステムや再生可能エネルギーなどの分散型エネルギーシステムの普及促進により、電力需給の安定化に貢献します。
3. オール京葉ガスの総合力の強化  
効率的な事業運営の推進や人財の強化、IT活用の深化などにより、オール京葉ガスとしての総合力を強化します。

#### 【経営目標】

1. 安定供給と保安の確保に関する目標
  - ・ガスの製造から消費にかかわる重大事故件数：ゼロ
  - ・地震災害対策の加速
2. 経営効率化に関する目標
  - ・経営効率化努力による成果のお客様への還元
3. お客様満足度に関する目標
  - ・各接点業務におけるお客様満足度：90%以上

#### 【主要計数】

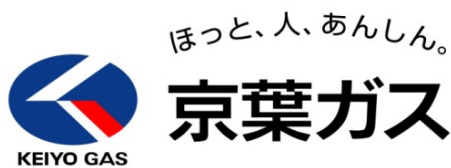
1. お客様件数 ・平成27年におけるお客様件数：89万件
2. ガス販売量 ・平成27年におけるガス販売量：7億<sup>m</sup><sub>3</sub>

# 中期経営計画

(平成 25 年～平成 27 年)

---

平成 24 年 11 月



# 目 次

I. はじめに.....	2
II. 環境認識.....	3
III. 事業の方向性.....	4
IV. 経営目標・主要計数.....	6
V. 重点課題.....	7
1. お客様の安全で快適な生活に貢献.....	7
(1) 地震災害対策の加速.....	7
(2) 安定供給と保安の確保.....	8
(3) お客様サービスの向上.....	9
2. 天然ガスシフトの推進と分散型エネルギーシステムの普及促進.....	11
(1) 天然ガスの普及拡大と高度利用.....	11
(2) 分散型エネルギーシステムの普及促進.....	12
(3) 新技術の開発・導入.....	13
3. オール京葉ガスの総合力の強化.....	14
(1) 経営基盤の強化.....	14
(2) 人財の強化.....	15
(3) IT活用の深化.....	15

# I. はじめに

わが国に甚大なる被害をもたらした東日本大震災から 1 年以上が経過いたしました。被災地のみなさまの言い尽くせないご心労に思いを馳せ、1 日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

東日本大震災は浦安地区の都市ガス供給設備に被害をもたらし、当社は 8 千件を超えるお客さまへのガス供給を停止いたしました。ここに、多大なご不便、ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げますとともに、復旧作業において格別のご理解、ご協力をいただいたことに心から御礼申し上げます。

当社では、現行中期経営計画（平成 23 年～平成 25 年）の目標達成に向けて、オール京葉ガス\*の総力を結集してガス事業の深化と周辺サービスの充実に取り組んでいます。そのなかで発生した東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故は、エネルギー業界を取り巻く環境に急激な変化をもたらしています。

東日本大震災以降、エネルギー・環境政策が白紙から見直されておりますが、「安定供給の確保 (Energy security)」、「環境への適合 (Environment)」、「経済効率性 (Economic efficiency)」といういわゆる 3E に、「安全 (Safety)」を加えた「3E+S」を実現することが政策の基本要件になり、天然ガスシフトの位置付けはますます重要になると考えます。

このような震災以降のエネルギー環境の変化を踏まえると、エネルギーセキュリティの強化に向けて地震災害対策を一層加速させるなかで不断の経営効率化に取り組み、天然ガスの普及拡大と高度利用により天然ガスシフトを推進することが、私たちの重要な使命となります。

震災による環境変化を踏まえた経営課題にスピード感をもって対処しなければならない今がまさに正念場という認識のもと、「中期経営計画（平成 25 年～平成 27 年）」を 1 年前倒しにする形で策定しました。本中期経営計画は、「オール京葉ガスで地域密着体制を強化してお客さま満足度 No.1 エネルギー事業者を実現している。」という将来のありたい姿の具現化に向けた平成 25 年～平成 27 年の施策展開を示すものです。

ご愛顧いただいている大切なお客さまに最大の奉仕ができるよう、オール京葉ガスで新たな中期経営計画の完遂に不屈の精神をもって取り組みます。

※オール京葉ガス：お客さまに提供する価値を高めるための当社、グループ会社、ビジネスパートナーで構成する連携体制

## II. 環境認識

### 1. 安心・安全要請の高まり

東日本大震災により浦安市の一部で都市ガスの供給を停止し、お客さまに多大なご迷惑をおかけしました。また、近い将来、首都直下地震の発生が予見されており、その被害は東日本大震災を大きく上回ることが想定されます。このようななか、当社は災害時の供給停止地区における早期のガス供給再開と供給継続地区における安定供給を両立するため、地震・津波などへの災害対策を一層強化する必要があります。

### 2. 電力需給安定化への貢献

福島第一原子力発電所の事故に端を発した電力需給の逼迫は、今後も続くことが予想されており、天然ガスの果たす役割はますます大きくなっています。当社は高効率な分散型電源である天然ガスコージェネレーションやピーク電力を抑制できるガス空調、さらには再生可能エネルギーの利用促進により電力需給の安定化に貢献する必要があります。

### 3. 地球温暖化問題の進展

東日本大震災を契機にエネルギー政策の見直しが進められていますが、新たなエネルギーミックスと低炭素社会の実現に向けて、省エネルギーの強化、再生可能エネルギーの利用拡大、化石燃料のクリーン利用などの方向性が示されています。当社は環境性に優れた天然ガスの普及拡大と高度利用に取り組むことで天然ガスシフトを推進するとともに、再生可能エネルギーの利用拡大やスマートエネルギーネットワークの構築などに取り組むことで、低炭素社会の実現に貢献する必要があります。

### 4. 原料調達環境の変化

火力発電の焚き増しにより大規模な LNG 追加需要が発生するとともに、LNG 輸入価格も原油価格にリンクして高騰しています。ガス会社と電力会社での共同 LNG 調達や広域パイプラインなどによる安定的かつ低廉な天然ガス利用が検討されており、今後の原料調達に影響を与える可能性があります。当社は今後も多様な原料ソースの確保により、安定的に都市ガスを供給する必要があります。

### 5. 供給エリアの需要動向

これまで堅調に推移してきた当社供給エリアの人口は平成 27 年頃をピークとして減少する見通しです。また、燃料転換による需要増が見込める産業用需要については、未開発の潜在需要が限定的となっています。これらの状況を踏まえると、大幅な都市ガス需要の増加を見込める要素は限定的であり、今後も地域に密着しながら市場深耕をはかる必要があります。

### 6. お客さまニーズの状況

お客さま満足度調査の結果では、お客さまが最も重視するポイントは「いつでもガスが利用できること」「安心してガスが利用できること」となっており、次いで「安価な料金」となっています。当社は安定供給と保安の確保、ガス機器修理体制の充実、不断の経営効率化に取り組む必要があります。

### Ⅲ. 事業の方向性

#### 1. 基本的な考え方

「中期経営計画（平成 23 年～平成 25 年）」では「オール京葉ガスの総力を結集して、ガス事業の深化と周辺サービスの充実をはかり、天然ガスシフトを推進する」を事業の方向性として、お客さまに提供する価値の向上に取り組んできました。そのようななか、東日本大震災の発生により社会・経済情勢が大きく変化し、従来の環境認識に加えて「エネルギーセキュリティのさらなる向上」「電力需給安定化への貢献」「経営効率化の一層の推進」が対処すべき課題となっています。

このような状況を踏まえ、「エネルギーセキュリティの強化に向けて地震災害対策を一層加速させるなかで不断の経営効率化に取り組むとともに、オール京葉ガスで地域密着体制を強化してお客さまに提供するサービスを充実することで、天然ガスシフトを推進する」という基本的な考え方のもと、あらゆる可能性に果敢にチャレンジします。

#### 環境変化を踏まえて特に注力すべき経営課題

- エネルギーセキュリティのさらなる向上  
地震災害時の事業継続に向けた災害対策の加速
- 電力需給安定化への貢献  
天然ガスシフトと分散型エネルギーシステムの普及促進
- 経営効率化の一層の推進  
不断の経営効率化による成果のお客さまへの還元

#### 中期経営計画（平成 25 年～平成 27 年）

##### 【基本的な考え方】

「エネルギーセキュリティの強化に向けて地震災害対策を一層加速させるなかで不断の経営効率化に取り組むとともに、オール京葉ガスで地域密着体制を強化してお客さまに提供するサービスを充実することで、天然ガスシフトを推進する」という基本的な考え方のもと、将来のありたい姿「お客さま満足度 No.1 エネルギー事業者」の実現に向けて、あらゆる可能性に果敢にチャレンジします

##### 【今後の事業課題】

- お客さまの安全で快適な生活に貢献
- 天然ガスシフトの推進と分散型エネルギーシステムの普及促進
- オール京葉ガスの総合力の強化

## 2. 事業課題

本中期経営計画（平成 25 年～平成 27 年）では、事業課題ごとに重点課題を設定しました。

### お客様の安全で快適な生活に貢献

地震・津波などの災害に対する万全な対策を講じるとともに、お客様の快適な生活に貢献するサービスの提供に取り組みます

地震災害対策の加速

安定供給と保安の確保

お客様  
サービスの向上

### 天然ガスシフトの推進と分散型エネルギーシステムの普及促進

天然ガスの普及拡大と高度利用に加えて、コージェネレーションシステムや再生可能エネルギーなどの分散型エネルギーシステムの普及促進により、電力需給の安定化に貢献します

天然ガスの  
普及拡大と高度利用

分散型エネルギー  
システムの普及促進

新技術の開発・導入

### オール京葉ガスの総合力の強化

効率的な事業運営の推進や人財の強化、IT 活用の深化などにより、オール京葉ガスとしての総合力を強化します

経営基盤の強化

人財の強化

IT 活用の深化

## IV. 経営目標・主要計数

### 1. 経営目標

(1) 安定供給と保安の確保に関する目標

○ガスの製造から消費にかかわる重大事故<sup>※1</sup>件数：ゼロ

※1 当社に起因するガス事業法施行規則第 112 条の詳報ガス事故。

○地震災害対策の加速<sup>※2</sup>

※2 生産供給設備の津波・浸水対策や耐震性強化などに 3 年間で 50 億円投資します。

(2) 経営効率化に関する目標

○経営効率化努力による成果のお客さまへの還元

(3) お客さま満足度に関する目標

○お客さま満足度：90%以上<sup>※3</sup>

※3 開栓、ガス機器修理、ガス機器取付、定期保安巡回、検満メーター取替、TES 修理の各接点業務において、5 段階評価で「満足」「まあ満足」の評価をいただいた比率で平均 90%以上を目指します。

(参 考) 平成 23 年お客さま満足度調査結果

業 務	開 栓	ガス機器修理	ガス機器取付	定期保安巡回	検満メーター取替	TES 修理	平 均
お客さま満足度	79.3%	90.6%	93.2%	83.6%	79.9%	88.5%	85.9%

### 2. 主要計数

(1) お客さま件数

○平成 27 年におけるお客さま件数：89 万件 （参考 平成 23 年末お客さま件数：86 万件）

(2) ガス販売量

○平成 27 年におけるガス販売量：7 億<sup>m</sup> （参考 平成 23 年ガス販売量：6.7 億<sup>m</sup>）



## V. 重点課題

### 1. お客様の安全で快適な生活に貢献

#### (1) 地震災害対策の加速

##### ①設備対策

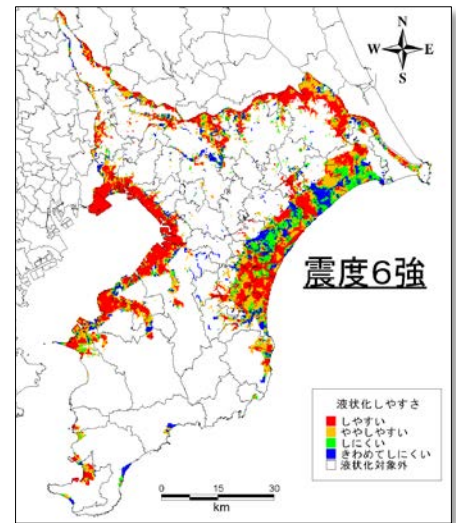
行政で見直されている首都直下地震による被害想定の結果を踏まえて、生産供給設備の津波・浸水対策などにスピード感を持って取り組みます。また、継続的に取り組んできた耐震性の高いポリエチレン管への更新などを加速することで、供給ネットワークの信頼性を強化します。

#### プロジェクトチームを設置して地震防災対策を推進します

首都直下地震への対応体制の整備を目的に「首都直下地震対策プロジェクトチーム」を設置しました。中央防災会議などから公表される想定をもとに当社供給エリアでの被害をシミュレーションするとともに、設備対策計画や事業継続計画を策定するなど地震防災対策を推進します。

#### 浦安市復興計画にもとづいて復旧・復興に取り組みます

東日本大震災により大きな被害を受けた浦安市は復興計画を策定し、平成 24 年度より本格的な復旧・復興事業に取り組んでいます。当社も浦安市復興計画に則り、行政および関係事業者と連携しながら浦安市の供給ネットワークの強化に取り組んでいます。



千葉県が公表した液状化マップ

##### ②地震防災体制の高度化

大地震発生時の供給停止地区の早期復旧と供給継続地区における安定供給を両立するための事業継続計画を策定します。また、実践的な地震防災訓練などを積み重ねることにより、災害時の早期復旧に向けた災害対応力を強化します。

#### 大地震を想定した訓練を定期的実施しています

当社は供給エリアで震度 5 弱以上の地震が発生した場合、昼夜を問わず地震災害対策本部を設置して、非常体制を組織します。そのような大地震の際に的確な初動対応を行うとともに、迅速に復旧体制へ移行できるように、全社での地震防災訓練および各部門での個別訓練を定期的実施して災害対応力の向上に努めています。



地震防災訓練の状況

#### 東北の被災地へ復旧応援隊を派遣しました

東日本大震災によって甚大な被害を受けた被災地に、日本ガス協会のメンバーとして復旧応援隊を派遣しました。オール京葉ガスの復旧応援隊は他ガス事業者と協力して、被災地の早期復旧に向けて開栓作業を行いました。今後もオール京葉ガスで連携して地震防災体制の強化に取り組めます。



被災地での開栓作業

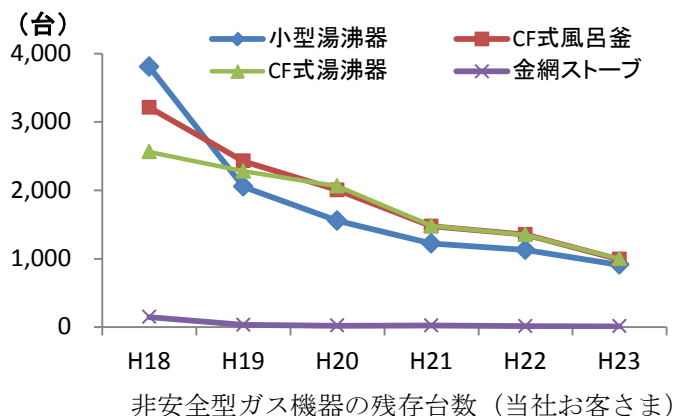
## (2) 安定供給と保安の確保

### ①安全高度化施策の推進

安全型機器の普及促進や不良給排気設備の改善などの安全高度化施策を推進するとともに、定期保安巡回などの業務機会を通じたお客さまへの安全周知を強化することにより、お客さま先での重大事故の撲滅に努めます。また、保安上重要な建物の経年白ガス管対策を平成27年までに完了します。

#### 安全なガス機器のご利用をお勧めしています

お客さまにより安心してガス器具をお使いいただけるように「安全型ガス機器普及促進キャンペーン」などを展開して、安全なガス機器の普及に努めてまいりました。今後も不完全燃焼防止装置が装備されていない小型湯沸器やガス風呂がまなどをご使用しているお客さまに安全なガス機器へのお取替えをお勧めします。



#### 定期保安巡回時に「安心・お困り解決活動」を展開しています

3年に一度お客さま宅を訪問して安全点検を行う定期保安巡回時に、お客さまにお困りの点や気になることを伺い、解決のお手伝いをする「安心・お困り解決活動」を展開しています。これからも地域の身近なエネルギー事業者として、お客さまの安心・安全をサポートします。



お客さまにお配りしている小冊子

### ②安定供給基盤の充実

供給ネットワークを街づくりなどにあわせて適切に整備するとともに、需要動向を踏まえた生産供給設備の能力増強や改廃を長期的な視点に立って進めることで、お客さまにガスをお届けする安定供給基盤の充実に努めます。

#### 供給ネットワークの強化に取り組んでいます

(仮称)妙典橋は江戸川を横断し、市川市高谷地区と妙典地区を結ぶ橋梁で、橋梁建設にあわせて導管の添架を計画しています。この橋梁添架管は、平成22年に開通した浦安供給所（浦安市舞浜）と北柏供給所（柏市柏の葉）を結ぶ全長51kmの第二中央幹線の江戸川横断部分を増強するもので、供給ネットワークの安定性の向上に寄与します。今後もお客さまにいつでもガスをご使用いただけるよう安定供給基盤の充実に努めます。



橋梁添架管

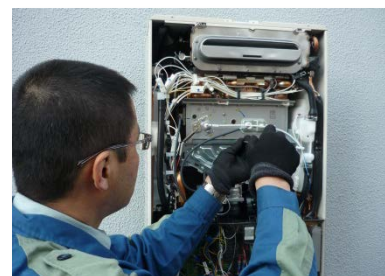
### (3) お客さまサービスの向上

#### ① 現行サービスの品質向上

お客さまにいつでもガスをご利用いただけるように入居開栓およびガス機器修理のサービス提供時間の拡大に取り組みます。さらには、ホームページでのお申込みメニューや会員制ホームページの充実をはかることで、お客さまに提供するサービス水準の向上に努めます。

#### 24 時間・365 日ガス機器修理を受け付けています

お客さまからのガス機器修理に関する電話でのお問い合わせをオール京葉ガスで 24 時間・365 日受け付けています。また、平成 24 年 7 月より、家庭用ガスコージェネレーションシステム「エコウィル」と、家庭用ガス温水システム「TES」の修理訪問時間を拡大して、月～土：9 時～19 時、日・祝・年末年始：9 時～17 時としました。今後もお客さまにいつでもガスをご利用いただけるようにガス機器修理体制の充実に取り組みます。



ガス機器の修理作業

#### 会員制ウェブサイトを開設しました

平成 24 年 7 月に会員制ウェブサイト「ウィズ京葉ガス」を当社のホームページに開設しました。会員登録していただくことで、過去のガス使用量やガス料金を照会する機能や、エネルギー使用による CO<sub>2</sub> 排出量を把握してご家庭での省エネ行動をサポートする環境家計簿などのメニューをご利用いただけます。



ウィズ京葉ガス画面

#### お客さまコールセンターが社外表彰制度にて奨励賞を受賞しました

平成 24 年 9 月に当社お客さまコールセンターは、企業情報化協会が主催するコンタクトセンター表彰制度において「奨励賞（安心・安全運営賞）」を受賞しました。お客さまとの大切な接点である電話応対業務のさらなるレベルアップを目指して、これからも不断の努力を重ねます。



授賞式の様子

#### ② 周辺サービスの充実と深化

ガス機器メンテナンスリースやホームセキュリティサービスなどの周辺サービスや、お客さまへ最適なエネルギー利用を提案するエネルギーサービスなどの充実に努めるとともに、ガス事業を基点とした新たなサービスの創出に取り組むことで、お客さまの安全で快適な生活に貢献します。

#### 京葉ガスホームセキュリティに新たなサービスを追加しました

平成 23 年 10 月より「京葉ガスホームセキュリティ」に、お客さまの「お困りごと」や「もっと便利に」などのご要望にお応えする新たなサービス（スマイルエース）を付加しました。京葉ガスホームセキュリティをご利用のお客さまに、給湯器やエアコンの緊急トラブルサービス、照明器具の交換や家具の移動サービス、健康・医療に関する電話相談サービスなどを提供しています。





## 学校向けの空調サービスを提供しています

節電にも貢献するガス空調をイニシャルレスでご利用いただける空調サービスを提供しています。学校などの施設に空調設備を設置する場合、多額の費用を一度に負担する必要がありますが、このサービスをご利用いただければ、設置工事や維持管理に必要な費用を月額サービス料でご利用いただくことが可能です。



ガス空調室外機

## ③広聴・広報の充実

お客さまコールセンターや各種調査などに寄せられるお客さまのご意見やご要望を詳細に分析して、お客さまの声を起点とする業務改善に取り組みます。また、お客さまに「ガスの良さ」や「当社の業務運営」に対する一層のご理解をいただくために、わかりやすいホームページへのリニューアルや地域に密着した広報に努めます。

## お客さまの声にもとづく改善活動を展開しています

当社の経営幹部がお客さまのご意見やご要望に傾聴する「お客さま友の会」や、お客さまの声を関係部署で共有してお客さまサービスの向上に関する課題を議論する「お客さま満足度向上委員会」を定期的に開催しています。これからも、貴重な経営資源であるお客さまの声を起点とする経営に努めます。



お客さま友の会の様子

## 節電かわら版を発行しました

ご家庭でできる節電のノウハウを紹介する小冊子「節電かわら版」を製作し、様々なイベントやお客さまとの接点機会配布して、節電を呼びかけています。具体的な節電の方法や行動をキッチン編とリビング編に分けて解説するとともに、節電のためのチェックシートや昔ながらの暑さ対策を紹介するなど、楽しみながら節電生活を実践できる内容となっています。



節電かわら版

## エコ・クッキング※レシピ集を発行しました

当社供給エリアの7市（市川市、船橋市、松戸市、柏市、鎌ヶ谷市、浦安市、白井市）にご協力いただき、各市の特産品をエコ・クッキングでおいしく調理する方法を紹介するオリジナルのレシピ集を製作しました。当社が参加する環境イベントなどで配布し、地元の旬の食材とエコ・クッキングをPRしています。

※「エコ・クッキング」は東京ガス㈱の登録商標です。



エコ・クッキングレシピ

## 2. 天然ガスシフトの推進と分散型エネルギーシステムの普及促進

### (1) 天然ガスの普及拡大と高度利用

#### ①家庭用営業

エネファームやエコジョーズなどの環境性や省エネ性に優れた商品を提案するとともに、体験型ショールームや各種イベントを通じて、ガスによる快適な暮らしをお客さまにお伝えします。さらには、お客さまにきめ細やかなサービスを提供できるよう、営業体制の強化に取り組めます。

#### 多くのお客さまに家庭用選択約款をご利用いただいています

家庭用選択約款は、ご利用のガス機器に応じてご契約いただけるお得な料金メニューです。「ガス温水床暖房」や、「ガスファンヒーターなどの暖房機」、「高効率給湯器エコジョーズ」、「家庭用コージェネレーションシステム エネファーム・エコウィル」などをご利用のお客さまが対象になります※。現在、20 万件を超えるお客さまにご契約いただいております。

※適用条件などにつきましては当社ホームページをご覧ください。



#### ②業務用営業

ガス空調機器の普及や天然ガスへの燃料転換を推進するとともに、省エネ、省 CO<sub>2</sub> に貢献するエネルギーソリューション営業を展開することで、節電や低炭素社会の実現に貢献します。また、オール京葉ガスの連携強化によるメンテナンス品質の向上やエネルギーセキュリティ提案の拡充に取り組むことで、お客さまとの信頼関係を強化します。

#### 超高効率 GHP「エグゼア」の販売を開始しました

GHP（ガスヒートポンプエアコン）は電気式のエアコンに比べて消費電力が少ないため、大幅な節電に貢献します。平成 23 年 4 月から販売を開始した超高効率 GHP「エグゼア」は部分負荷性能の大幅な向上により、従来機と比べてエネルギー消費量を約 19%、CO<sub>2</sub> 排出量を約 20%低減します。



#### 環境にやさしい天然ガスへの燃料転換を進めています

重油などの石油系燃料から環境にやさしい天然ガスへ転換することで、CO<sub>2</sub> の排出を削減します。特に多くの燃料を使用する産業用分野においては天然ガスへの燃料転換による CO<sub>2</sub> 削減が期待されています。当社は天然ガスを主成分とする都市ガスへの燃料転換を推進することに加えて、省エネルギー診断などのサポート活動を展開することで一層の CO<sub>2</sub> 削減に努めています。



金属熱処理における天然ガス利用

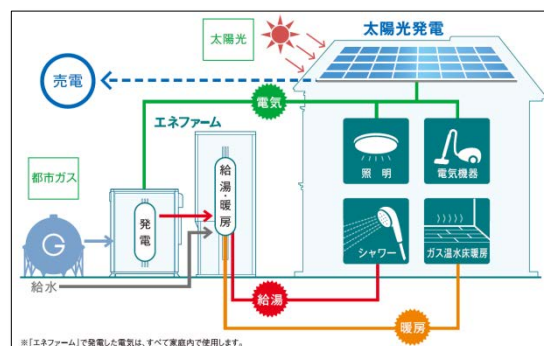
## (2) 分散型エネルギーシステムの普及促進

### ①お客さま先における分散型エネルギーシステムの普及促進

家庭用においては、太陽光発電システムとエネファームなどの家庭用コージェネレーションシステムを組み合わせたダブル発電システムの普及拡大に取り組みます。業務用においては、多様なお客さまニーズに即した分散型エネルギーシステムを提案するとともに、お客さまがコージェネレーションシステムを最適にご利用いただけるような支援を展開します。

#### ダブル発電システムの普及に取り組んでいます

太陽光発電システムと家庭用コージェネレーションシステム エネファーム・エコウィルを組み合わせたダブル発電システムは、省エネルギーに貢献することに加えて、太陽光発電システムによる余剰電力が増加します。当社は環境性と経済性に優れたダブル発電システムの普及に取り組んでいます。



ダブル発電システム

#### コージェネレーションシステムの普及促進に取り組んでいます

東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートさまでは開業当初より省エネルギーの観点と環境への配慮から、ガスエンジンによるコージェネレーションシステムを採用していただいております。平成24年3月に新しいコージェネレーションシステムへ更新していただきました。今回の更新では設備費やメンテナンス費をパッケージ化して毎年一定額をお支払いいただくエネルギーサービスの契約を締結していただきました。新たに稼働したガスエンジンの発電出力は370kWで、従来設備に比べてエネルギー効率が向上しており、ホテル全体のエネルギー消費量低減に寄与しています。



東京ベイ舞浜ホテルクラブリゾートさま

### ②再生可能エネルギー発電事業の展開

低炭素社会の実現と電力需給の安定化に貢献するために、オール京葉ガスの連携を強化して、大規模太陽光発電事業をはじめ、地熱発電や風力発電など様々な電源での再生可能エネルギー発電事業の展開を検討します。

#### メガソーラーの建設を進めています

平成25年3月の運用開始を目指して、白井市内の社有地に約2MWの太陽光発電施設の建設を進めています。この発電所では一般家庭約350件の電力使用量に相当する約2,000MWh/年ほどの発電量が見込まれており、一般的な火力発電と比較して、約620t-CO<sub>2</sub>/年のCO<sub>2</sub>削減効果が期待されます。



白井社有地におけるメガソーラーのイメージ

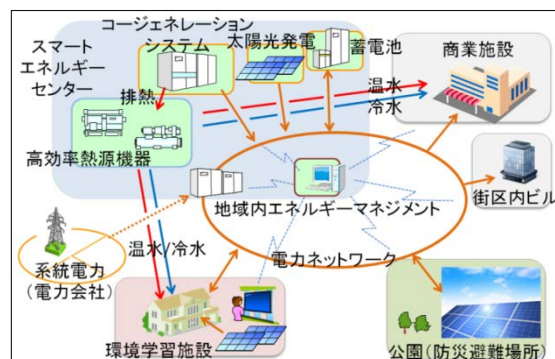


### (3) 新技術の開発・導入

新しい街づくりにおけるスマートエネルギーネットワークの実用化調査の実施など、エネルギー利用のスマート化に関する調査研究に取り組みます。さらには、非開削工法などの現場の課題を解決する技術開発に取り組みます。

#### スマートエネルギーネットワークの実用化調査に取り組みます

スマートエネルギーネットワークは再生可能エネルギーと天然ガスコージェネレーションなどを組み合わせて、これを IT により最適に制御し、ネットワーク内で電気と熱を面的に利用して省エネルギーと CO<sub>2</sub> 削減を実現するシステムです。当社は供給エリアにおける街づくり計画で、地域の皆さまと連携して、スマートエネルギーネットワークの構築に向けた実用化調査を進めます。



スマートエネルギーネットワークのイメージ

#### 家畜糞尿を原料とするバイオガス発電装置の開発を進めています

オール京葉ガスは産学共同で、低コスト小型メタン発酵および脱臭機能付きバイオガス発電装置の開発に取り組んでいます。本開発は、家畜糞尿を原料としてメタン発酵装置で発生させたバイオガスを燃料に発電する装置をユニット化したものです。発電装置からの排熱によりメタン発酵槽を加熱することで発酵を促進させるとともに、発酵後に回収した家畜糞尿は肥料として使用します。



共同開発者の佐久間牧場さまの牛舎

#### 現場の課題を解決する技術開発に取り組んでいます

非開削工法は工事区間の両端に掘削坑を設けてガス導管を地中に引き込むため、道路の掘削面積を大幅に削減します。また、活管分岐工法は地中に埋設されているガス導管からガスを噴出させることなく、ガスを流したまま新たにガス管を分岐することができる新工法です。当社は非開削工法や活管分岐工法などの環境負荷軽減や作業効率の向上につながる技術開発に取り組んでいます。



非開削工法の施工状況

### 3. オール京葉ガスの総合力の強化

#### (1) 経営基盤の強化

##### ①経営効率化の推進

業務プロセスや運営体制の改善によるオール京葉ガスの業務運営の効率化、設備利用や保全方法の改善による設備運用の効率化など、業務全般にわたる創意工夫による不断の効率化を敢行するとともに、コスト抑制の推進にあわせた効果的な経営資源の配分に努めます。

#### ガス料金改定を実施しました

平成 24 年 2 月に供給約款と選択約款をあわせた小口部門で平均 0.13%引き下げとなるガス料金の改定を行いました。また、業務用選択約款の一部の料金メニューに、厨房内を涼しく働きやすい環境にする厨房機器（涼厨<sup>※</sup>）や小型貫流ボイラなどを設置されたお客さまを対象とした新しい割引制度を追加しました。

※「涼厨」は大阪ガス<sup>株</sup>の登録商標です。



涼厨

##### ②オール京葉ガスの体制強化

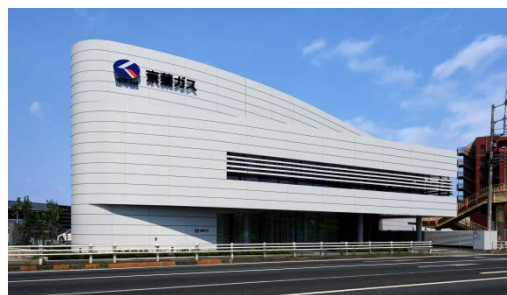
京葉ガス、グループ会社、ビジネスパートナーが一体となって事業運営体制を強化することで、お客さまの暮らしを彩るパートナーとして、よりよいサービスと品質の提供や、お客さまのご要望への迅速な対応などに努めます。

##### ③地域との共生

地域社会の皆さまとオール京葉ガスが相乗的に発展していくために、環境保全や次世代教育などの地域に密着した活動を実践します。また、透明で公正な事業活動に向けてオール京葉ガスでコンプライアンスを徹底します。

#### 環境負荷の低減に取り組んでいます

平成 24 年 3 月に竣工した京葉ガス柏ビルは、さまざまな省エネルギー設備や BEMS を導入することで、建物がどれだけ環境に配慮してつくられているかを示す指標である CASBEE において、最高ランクである「S ランク」の評価を取得しました。当社は環境性や省エネ性に優れた設備を積極的に導入することで、環境負荷の低減に取り組めます。



京葉ガス柏ビル

#### 次世代教育のお手伝いに取り組んでいます

当社は楽しく親しみやすい体験を通じて、子どもたちに身近なところからエネルギーや環境問題への関心をもってもらうことを目的に、小中学校で出張授業を行っています。平成 23 年は 96 回開催し、3,000 名を超える皆さまに参加していただきました。



出張授業の様子



## (2) 人財の強化

人財育成方針の見直しなどにより従業員のマネジメント力を強化するとともに、多様な人財の一人ひとりが能力を最大限に発揮する就業機会の提供に努めます。また、お客さまとの日々の接点業務を担うオール京葉ガスの人財が、お客さまに安心と快適を実感していただくプロフェッショナル集団となるために、研修プログラムの充実などに取り組みます。

### お客さまに安心・安全を提供する人財育成に取り組んでいます

当社はお客さまからガスもれなどのご連絡をいただいた際に、24時間・365日いつでも現場に出動するとともに、大地震などの非常時には全社員が出動して、初動対応を行います。このような緊急時に保安作業を行う社員の技能レベルの維持・向上を目的に、毎年保安講習を実施しており、平成23年は825名の社員が教育を受講しました。



保安講習の様子

### オール京葉ガスで技能の向上に努めています

供内管工事の施工技術の向上を目的として、オール京葉ガスを代表する工事士が技能を競う「技能コンクール」を定期的で開催しています。実際の現場を模擬したパッドックで、日頃の業務で培った作業の正確さを競いあい、オール京葉ガスで技術力の向上に取り組んでいます。



技能コンクールの様子

## (3) IT 活用の深化

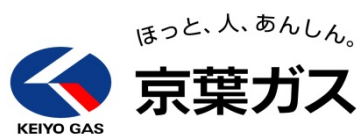
地震などの災害発生時の業務継続を十分に考慮し、情報システムの安定運用、信頼性の維持・向上をはかるとともに、日々進化するITを的確に取り入れて、お客さまサービスや業務品質の向上、業務の効率化に取り組みます。

### お客さま情報システムの整備を進めています

平成23年にお客さま情報システムの再構築が完了し、お客さまサービスの向上や業務効率化を推進する環境を整えました。

インターネットサービスの充実、フィールド業務でのシステム利用拡充、スマート社会への対応など、今後もITを活用した業務改革に取り組みます。





本資料の内容は発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により本資料の予想と異なる結果となることがあります。